



録画配信の  
2次元コード

**土方 隆司**  
 新政みらい



録画配信の  
2次元コード

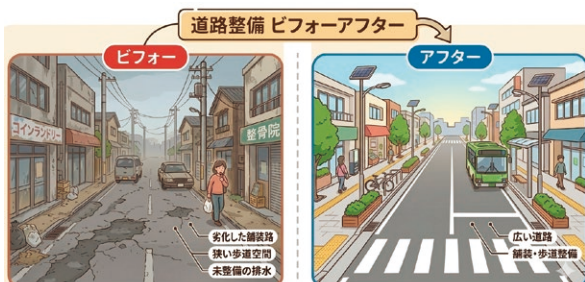
**大沢 えみ子**  
 日本共産党

## 良好な都市基盤の形成を目指して!

### ◆都市計画道路の整備推進に向けた市長の所信

**Q** 本市の人口がピークだった平成7年頃の人口は約16万3千人、現在は約14万6千人。市税収入は当時も現在も約200億円。しかし、歳出では都市整備に資する土木費は100億円を超えていたものが50億円を下回る一方で福祉制度に係る民生費は70億円程度だったものが200億円を超えている。これは自治体として福祉制度の維持が精一杯で住環境の形成に資する都市整備にかかる体力が弱まっているとも捉えられる。市として体力があるうちに積極的に都市計画道路の整備を進める必要があると考えるが市長の所信は

**A 市長** 都市計画道路の整備は、市の持続的な発展を支える重要な都市基盤であり、欠かすことのできない施策である。本市の財政状況を見ると高齢化の進行等に伴い民生費の割合が増加する中、土木費に充てられる予算は相対的に縮減している。厳しい財政環境のもとにおいて、これまで以上に財政規律を重視し、真に必要な事業を見極めながら取り組むことが求められている。今後は整備の必要性と効果を十分に精査し、国庫補助金の活用や事業の平準化、関係機関との連携等、持続可能な財政運営との両立を図りつつ都市計画道路の整備を進めていく。市民の皆様のご理解とご協力を賜りたい。



その他のテーマ▶都市計画道路を整備する事の効果  
 ▶整備にあたり生ずる課題▶整備に向けた今後の展望

## 新年度の市政運営／ひきこもり状態への支援

### ◆2026年の市政運営について

**Q** 新年度の取り組みとして ①失われた30年への雇用対策 ②学校給食の意義 ③サピオ稲荷山の更新についての進捗状況は

**A 市長** ①求職者と企業双方に対する施策を行い、安定的で多様な雇用の創出に努める。②健康、食育の面からも極めて有効な教育的役割を担っている。③この3月13日にPFI事業者選定委員会にてプレゼンテーション審査を行う予定。

### ◆ひきこもり状態にある方への支援

**Q** 市内のひきこもり状態にある方の実態は

**A 福祉部長** 関係機関が把握しているケースは73件で、働き盛りと言われる年代が全体の約6割、期間が10年以上に及ぶ方が約5割。

**Q** 家族への支援はあるか

**A 健康推進部長** 伴走型の相談支援を継続的に行うほか、必要に応じて家族会や民間支援団体等の専門的な支援機関を紹介している。

**Q** 民間団体と連携した居場所確保の考えは

**A 福祉部長** 民間団体の支援は有効と考える。本人や家族の意思を確認し居場所支援を行う。

**Q** 地域での理解促進の取り組みは

**A 福祉部長** 社会資源マップの完成に向け事務を進める。



ひきこもりは生きる力をためる時